

大阪大学 産業科学研究所
技術室



国立大学法人 大阪大学 産業科学研究所
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1
<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/tew/>

トップレベルの研究を高度な技術力でサポート

大阪大学産業科学研究所は、「産業に必要な自然科学の基礎と応用に関する研究」を理念とし、量子、材料、ビーム、生体、分子、ナノテク、AIの融合型研究を推進する総合理工学研究所です。その研究所に組織化されている技術室は、「創る」(工作)、「計る」(計測)、「知らせる」(情報)という3つの重要な要素を担当する技術者で構成されています。

1939年 産業科学研究所創立（堺市に建設）、技術職員が各研究室に配属

1968年 大阪大学統合計画に基づき研究所が現在地（茨木市）へ移転

1982年 技術室設置 派遣先（共通施設）にて業務変更

1987年 技術室報告会開始
技術研修・技術研鑽の一環として開催

2004年 安全講習会開始
新入学生・研究員、新入教職員の研究所内における安全な研究環境を作り上げるために、技術室が中心となり開催

2005年 ものづくり教室開始
夏休みに小中学生を対象としたサイエンスイベントを開講

2007年 技術室設置25周年記念シンポジウム

2012年 第1回アライアンス技術支援シンポジウム
北大電子研、東北大多元研、東工大資源研（現在化生研）、九州大先端研と技術交流を行い、日頃の研究支援活動の成果を発表する場として開催

2020年 技術室 係改組

2022年 現在に至る（技術室設置40周年）

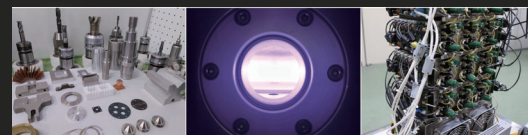


大阪大学産業科学研究所 技術室



室 長 相原 千尋 (NW)

()は派遣先の略称



工作班

班 長 榊原 昇一 (NANO)
技術専門職員 羽子岡 仁志 (CAC)

機械加工係

係 長 松下 雄貴 (WS)
技術職員 小山田 孝輔 (WS)

マシニングセンタやフライス盤、旋盤等の工作機械を扱う技術と、溶接や3次元CADを利用した設計など機械加工に関する技術を有し、研究活動に必要な実験装置の開発・製作・修理を通して研究者をサポートしています。

装置開発係

係長(兼任) 榊原 昇一 (NANO)
技術職員 古川 和弥 (RL)
技術職員 福井 宥平 (RL)

電気・電子回路の実装および制御プログラムの構築により装置開発を行う係であり、主に加速器を対象としています。また放射線取扱業務における保守・安全管理も担当します。



計測班

班 長 山中 卓也 (AI)

機器分析係

係 長 松崎 剛 (CAC)
技術職員 村上 洋輔 (CAC)
技術職員 嵩原 綱吉 (CAC)

種々の分析装置を用いて従来の技術支援のみならず、最先端分析技術を取り込みながら物質の依頼分析やデータ処理、装置の管理や保守を主業務としています。

情報・広報係

係 長 奥村 由香 (PR)

情報システム及びコンピュータネットワーク保守・管理、所内外への情報発信などの広報活動を主な業務とし、その他、構成員に対してデータ科学や情報・広報に関する技術的支援を行っています。

派遣先 技術室スタッフは各派遣先で業務を行っています。

NANO

WS

RL

NW

CAC

PR

AI

ナノ加工室

試作工場

量子ビーム科学研究施設

情報ネットワーク室

総合解析センター

広報室

AIセンター